



Title	大阪大学歯学雑誌 第62巻2号 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学歯学雑誌. 2018, 62(2)
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70614">https://hdl.handle.net/11094/70614</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 大阪大学歯学雑誌

Vol.62 No.2 Contents

## 規 定

- 平成 30 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定  
平成 30 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

## 総 説

- “Sit down and be quiet” シグナルの発見  
—パラアミノ安息香酸による歯周病菌の制御— 久保庭 雅 恵 (他 2 名) 1

## 症例報告

- 下顎埋伏智歯抜歯時において  
歯根の組織内迷入を認めた 3 症例に関する臨床的検討 小 倉 秀 (他 6 名) 5  
抜歯時に矯正用セパレーションを応用する有益性について 山 本 敬 子 (他 1 名) 11

## Information

- |                       |    |                       |    |
|-----------------------|----|-----------------------|----|
| 会務報告                  | 17 | 教室研究紹介                |    |
| 大阪大学歯学会会則             | 23 | 大阪大学大学院歯学研究科 歯科放射線学教室 | 29 |
| デジタルデータ出稿の詳細          | 26 |                       |    |
| 引用文献の表記ルール            | 26 |                       |    |
| 歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート | 27 |                       |    |
| 誓 約 書                 | 28 |                       |    |

### 表紙のことば

インプラントと可撤性義歯の併用（インプラントオーバーデンチャー）により義歯による粘膜部の疼痛軽減や咀嚼能率の向上、咬合力の増加、さらに患者満足度の向上などが得られます。この様な利点や手術侵襲が少ないことから、高齢者でその適応が増えています。

一方で長期的な安定を達成するには、義歯形態や補強構造、アタッチメントなど、補綴主導で緻密に治療計画を立案する必要があり、これら設計に CAD/CAM 技術が、近年利用されるようになりました。

今後、個々の口腔環境を考慮した診断や設計ができるよう研究を進めています。

(歯科補綴学第二教室)